

播磨町バリアフリー・ニュースレター

VOL.2

歩いて発見！話して納得！駅や道路のバリア調査

～ 播磨町駅周辺のタウン・ウォッチングを開催～

9月29日、「播磨町バリアフリー基本構想」策定に向け、実際にどのような移動のバリアがあるのかを調査するため、住民、障がい者の方など約20名に集まっていただき、タウン・ウォッチングを開催しました。参加者は3つのグループに分かれ、駅、道路、施設などを移動しながら調査し、たくさんのバリアを見つけてくださいました。調査の後の意見交換ワークショップでも熱心な議論が行われました。

駅グループ



トイレは車いすでは利用できません！！



急なスロープ、車いすを押して移動するのは大変。

役場周辺グループ



役場北側の公園内の急なスロープ。



役場玄関前の点字ブロック。弱視の人には見えません。

しあわせセンターグループ



歩道があっても凸凹したり、傾いていたり。問題がたくさんありました。



自転車で歩道が利用できません。



グループで、調査結果について話し合いを行いました。



意見を地図や模造紙にまとめてみんなに結果を報告しました

ご協力ありがとうございました。
いただいた意見をもとに、検討を進めてまいります。

参加者の感想（抜粋）

- ・実際に町を回ってみて普段気づかないようなバリアに気づくことが出来た。このような機会を多く持ってほしい。
- ・多くの人の目で一つずつ確認しながらじっくり歩くと、小さな障害に気づくことができた。



お問い合わせ先：播磨町企画グループ

TEL 079-435-0356

E-MAIL kikaku@town.harima.lg.jp